

# TGR TEAM ZENT CERUMO

## 2020 AUTOBACS SUPER GT Report

たかのこのホテル FUJI GT 300km RACE

第5戦 富士スピードウェイ

### ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆10月3日（土） QUALIFY

公式予選結果 9位

開幕3戦を苦しみ続け、背水の陣で臨んだ第4戦もてぎでは、ポールポジション、そして2位表彰台と反撃への狼煙を上げたTGR TEAM ZENT CERUMO。迎えた第5戦の舞台は、チームのホームコースである富士スピードウェイだ。そして今回からは人数に制限はありながらも、



今季初めてファンをサーキットに迎えることになる。ZENT GR Supraの勇姿をようやくファンの皆さんの前に披露できるレースウィークがやってきた。

第4戦で得た良いフィーリングをもとに、しっかりと準備を整え富士スピードウェイに乗り込んだTGR TEAM ZENT CERUMOは、いよいよ10月3日（土）の予選日を迎えた。雲があるものの、時折陽も差すコンディションのなか、午前9時15分に公式練習がスタートしていった。



ZENT GR Supraは、いつもどおり立川祐路がステアリングを握りコースイン。前戦のもてぎで得られた好フィーリングをもとにセットアップを施したZENT GR Supraの感触を確かめ、また決勝レースに向けたタイヤの確認も行っていった。この第5戦に向けてさらなるパフォ

ZENT

GR TOYOTA  
GAZOO  
Racing

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

Jms

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMADA  
BRAKE FLUID

MOTUL  
RACING OIL

# TGR TEAM ZENT CERUMO

パフォーマンスを追求した ZENT GR Supra のフィーリングは良好で、立川は 23 周をこなしピットイン。石浦宏明に交代した。

コクピットに乗り込んだ石浦も、ZENT GR Supra に好感触を得る。第 4 戦もてぎでの表彰台獲得でポイントが 28 点となったことから、今回から ZENT GR Supra はウエイトハンデが 50kg を超え、燃料流量リストラクターのハンデが入っているが、それでも上位争いできるポテンシャルはありそう。石浦が専有走行のチェッカー間際にマークした 1 分 29 秒 362 がベストとなり、ZENT GR Supra は 11 番手で公式練習を終えたが、順位以上にその感触は良かった。

公式練習の後、室屋義秀選手によるフライトパフォーマンス『“Thanks for ALL” Yoshi MUROYA × LEXUS Special Flight@ FUJI SPEEDWAY』や FIA-F4 の開幕戦が行われ、今季第 4 戦までとは異なる流れのなか迎えた午後 2 時からの公式予選。天候は変わらず薄曇りだ。

ZENT GR Supra の Q1 のアタッカーを務めるのは石浦。午後 2 時 33 分のコースオープンから石浦はしっかりとタイヤを温め、1 分 43 秒 311、1 分 36 秒 247、1 分 30 秒 945 と少しずつタイムを上げていくと、5 周目にアタックラップに入っていく。



石浦はそのラップで 1 分 28 秒 683 というタイムをマークし、午前の公式練習のタイムを大きく上回ってみせたが、今回はウエイトハンデが軽いライバル勢が速く、石浦の順位は 9 番手。わずかに Q2 進出には届かず、ZENT GR Supra は 10 月 4 日（日）のレースを 9 番グリッドからスタートすることになった。

とはいえ、選んだタイヤはレースを見据えてのもの。ZENT GR Supra の感触も良い。ランキング上位陣がウエイトハンデに苦しむなか、ここで差を詰めることができれば、タイトル争いにとっても大きい。TGR TEAM ZENT CERUMO はレースに向け、しっかりと準備を進めていく。



# TGR TEAM ZENT CERUMO

## ドライバー／立川祐路

「今回、走り出しからフィーリングは悪くなく、持ち込みセットの雰囲気も良いものがあるのを確認することができました。残念ながら燃料流量リストラクターのハンデもあったか公式予選では惜しくも Q1 を突破することができませんでしたが、第1戦、第2戦の富士と比較しても確実にクルマが良いことも確認できました。軽いライバルたちが上位にはつけてはいますが、タイヤもレースに向けた良い手ごたえがあるので、追い上げるレースをみせられるよう頑張っていきたいですね」

## ドライバー／石浦宏明

「前戦もてぎで良い結果を残すことができましたので、開幕2戦の富士とは異なる状態で持ち込んできました。セットアップも富士でどの状態がいいのかを立川選手が試してくれましたが、公式練習では僕がドライブしたときもフィーリングが良くなっているのを確認することができましたし、決勝に向けても良い組み立てができ、レースで良いパフォーマンスを出せるタイヤを選ぶことができました。公式予選 Q1 を突破できなかったのは残念ですが、戦える位置にはいると思いますので、明日はレース中にバトンを受け取ってからしっかり集中して、良いレースができるようにしたいと思います」

## 村田淳一監督

「第4戦もてぎで良い結果を残すことができ、第5戦に向けてはさらに TRD の協力を得ながら、車両のセットアップ等、ドライバーとエンジニアでもう一度洗い出してきました。公式練習でその評価もしっかり得ることができましたが、選んだタイヤがパフォーマンスを発揮するには、公式予選ではややタイヤに対して路面温度、気温がマッチしなかったかもしれません。惜しくも Q1 敗退となってしまいましたが、ドライバーのフィーリングも良いので、なるべく大きなポイントを獲得できるようにしっかり追いついていきたいと思っています」



# TGR TEAM ZENT CERUMO

## 公式予選結果

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	8	ARTA NSX-GT	1'27.130	1'28.063
2	12	CALSONIC IMPUL GT-R	1'27.620	1'28.032
3	19	WedsSport ADVAN GR Supra	1'27.688	1'28.111
4	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1'27.809	1'28.218
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'28.088	1'28.362
6	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'28.310	1'28.308
7	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'28.481	1'28.541
8	16	MOTUL MUGEN NSX GT	1'28.493	1'28.326
<b>9</b>	<b>38</b>	<b>ZENT GR Supra</b>		<b>1'28.683</b>
10	36	au TOM'S GR Supra		1'28.755
11	37	KeePer TOM'S GR Supra		1'28.776
12	14	WAKO'S 4CR GR Supra		1'28.829
13	100	RAYBRIG NSX-GT		1'28.856
14	64	Modulo NSX-GT		1'28.946
15	17	KEIHIN NSX-GT		1'29.688

